

コフナ農法普及協議会

土づくり好嫌気性複合微生物資材
真夏のホウレンソウ安定出荷を
ホウレンソウ産地で高い岩手県八
幡平市・旧西根町地域。コフナ使用で
土が柔らかくなり、病害も少なくなる
などの声があり、コフナを継続使用し
ている生産者が多い。中には、土壌消
毒せず連作している生産者もいる。
JA新いわて八幡平野菜生産部会ほ
うれん草専門部長の工藤勝弘さんは
「栽培で気を付けている点は堆肥・水
管理・菌バランス。収穫後の残根で、
以前は病原菌密度が高かったことも
コフナ使用8年目。品質が安定してお
り、コフナが長く続けられる一番の秘
訣（ひけつ）」と話す。同JA八幡平
営農経済センターの藤原一順さんも
「収量が上がれば、必然と土に負担が
かかる。年間収量を安定させるには、
土づくりが必要。その点でコフナには
注目している」と話す。

コフナ農法普及協議会

コフナを取り入れた土づくりで
夏のホウレンソウも安定出荷！
JA新いわて八幡平野菜生産部会の
佐々木和男さんは、水稲・牛・野菜・牧草
の複合経営をしています。ホウレンソ
ウは60坪（約9a）ハウス×35棟×平均
4回転で、昨年も5700kgを出荷し
ました。4、12月の収穫期間中、減収
しがちな真夏に収量を落とさずに出荷
できているのが大きいです。
佐々木さんは「毎年の薬剤消毒が、
年々煩わしく感じてきて、長い目で見
ると土づくりのほうが、土にもホウレ
ンソウにもいいのでは」と思い立ち、5
年前からコフナを導入しました。作付
け時にコフナを使った自家製堆肥と組
み合わせて入れるようにしています。
昨年からはハウス15棟分でコフナソ
ーラー法も取り入れており、土づくりに
努力を惜しみません。

夏のほうれん草の収量と
品質をさらに高めたい



JA新いわて
八幡平野菜生産部会
ほうれん草専門部長
工藤 勝弘さん

フランス生まれの微生物資材
COFUNA®
<http://www.cofuna.jp>



岩手のほうれん草を
もっと良くしたい
JA新いわて八幡平営農経済センター
藤原一順さん

コフナ農法普及協議会 事務局/ニチモウ株式会社内
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20-2 (天王洲郵船ビル) E-mail info@cofuna.jp
電話 03-3458-4369 ファックス 03-3458-4329

2015年5月14日付 日本農業新聞

回転も大事だけど
1回当りの収量の
安定が大切な
JA新いわて八幡平
野菜生産部会
佐々木和男さん



フランス生まれの微生物資材
COFUNA®
<http://www.cofuna.jp>

やっぱり基本は土づくり！
ホウレンソウの一大産地、岩手県八幡平市でも
連作障害や萎凋病予防など、土づくりのために
たくさんの農家さんにお使いいただいております！

コフナ農法普及協議会 事務局/ニチモウ株式会社内
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20-2 (天王洲郵船ビル) E-mail info@cofuna.jp
電話 03-3458-4369 ファックス 03-3458-4329

2016年5月25日付 日本農業新聞

コフナ農法普及協議会

大事な夏場の安定出荷に!!

5年前の猛暑の夏、例年通りの箱数出荷は地域で2人ほどだったそうです。そのうちの1人、鶴飼さんは2004年に岩手県洋野町大野で就農し、ホウレンソウを栽培。いろいろな資材を試し、特に病気がしにくいものはありませんでしたが、夏場の収量に物足りなさを感じていました。コフナを使用したのは7年前。知人の紹介で、まずは堆肥に混ぜ腐熟具合に感触を得ました。圃場(ほじょう)でも試しましたが、1年目はピンときませんでした。結果が出たのは2年目で、夏場の収量・箱数が増え、効果に納得。鶴飼さんは年間6回転の作付けでハウスの土を休ませる暇もありませんが、毎作コフナを使い秋にもコフナ堆肥を投入しています。

これまで土壌消毒とも無縁です。地元産直にも出荷、味が違つて評判も良いです。コフナを使ってからホウレンソウの毛細根が変わったそうです。

夏場の収量が
増えたことはもちろん、
味がいいと産直で
リピーターが増えていることが
なにより嬉しいですね

岩手県洋野町
鶴飼さん夫妻

フランス生まれの微生物資材
COFUNA[®]
<http://www.cofuna.jp>

コフナ1号
コフナMP

やっぱり基本は土づくり!
ホウレンソウの一大産地、岩手県久慈地区でも連作障害や萎凋(いちょう)病予防など、土づくりのためにたくさんの農家さんにお使いいただいております!

コフナ農法普及協議会 事務局/ニチモウ株式会社内
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-20(天王洲副都心ビル) E-mail info@kofuna.jp
電話 03-3458-4369 ファックス 03-3458-4329